【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【公開番号】特開2015-188497(P2015-188497A)
【公開日】平成27年11月2日(2015.11.2)
【年通号数】公開・登録公報2015-067
【出願番号】特願2014-65982(P2014-65982)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/02　(2006.01)
Ｇ０１Ｊ　1/02　(2006.01)
Ｇ０１Ｊ　1/42　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/02　３１０Ｂ
Ｇ０１Ｊ　1/02　Ｐ
Ｇ０１Ｊ　1/42　Ｎ

【手続補正書】
【提出日】平成29年3月13日(2017.3.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
対象物に対して光を射出する発光部と、
前記対象物からの光を受光する受光部と、
前記発光部が設けられる第１の基板と、
前記受光部が設けられる第２の基板と、
を含み、
前記第１の基板に対して前記対象物とは反対側に設定された基準面からの、前記第１の基板の高さをｈ１とし、
前記基準面からの前記第２の基板の高さをｈ２とした場合に、ｈ２＞ｈ１となることを特徴とする光検出ユニット。
【請求項２】
請求項１において、
前記第２の基板は、
前記発光部から前記受光部への直接光を遮蔽することを特徴とする光検出ユニット。
【請求項３】
請求項１又は２において、
前記光検出ユニットを含む機器が、前記対象物である被検体に装着された状態において、
前記第１の基板から前記対象物までの距離をｄ１とし、
前記第２の基板から前記対象物までの距離をｄ２とした場合に、ｄ１＞ｄ２となることを特徴とする光検出ユニット。
【請求項４】
請求項１乃至３のいずれかにおいて、
前記基準面からの前記発光部の高さをｈ３とし、
前記基準面からの前記受光部の高さをｈ４とした場合に、ｈ４＞ｈ３となることを特徴

とする光検出ユニット。
【請求項５】
請求項４において、
前記発光部は、
光を集光するレンズ部と、発光素子が封入される封入部と、前記封入部の台座となる台座部とを有し、
前記発光部の高さｈ３は、前記基準面からの前記レンズ部の高さであることを特徴とする光検出ユニット。
【請求項６】
請求項１乃至５のいずれかにおいて、
ノイズ低減用の検出信号を出力する第２の受光部をさらに含み、
前記第２の受光部は、前記第１の基板に設けられていることを特徴とする光検出ユニット。
【請求項７】
請求項１乃至５のいずれかにおいて、
ノイズ低減用の検出信号を出力する第２の受光部をさらに含み、
前記第２の受光部は、前記第２の基板に設けられていることを特徴とする光検出ユニット。
【請求項８】
請求項７において、
前記発光部と前記受光部との距離をＬ１とし、前記発光部と前記第２の受光部との距離をＬ２とした場合に、Ｌ１＜Ｌ２であることを特徴とする光検出ユニット。
【請求項９】
請求項１乃至８のいずれかにおいて、
前記第１の基板と、前記第２の基板は、フレキシブル基板により一体となっていることを特徴とする光検出ユニット。
【請求項１０】
請求項１乃至９のいずれかにおいて、
前記第１の基板の前記発光部が設けられる面を第１の面とし、前記第１の基板の前記第１の面の裏面を第２の面とし、前記第１の面から前記第２の面への方向を第１の方向とした場合に、
前記基準面は、
前記第２の面よりも第１の方向側に位置し、且つ前記第２の面と平行な面であることを特徴とする光検出ユニット。
【請求項１１】
対象物に対して光を射出する発光部と、
前記対象物からの光を受光する受光部と、
前記発光部が設けられる第１の基板と、
前記受光部が設けられる第２の基板と、
を含み、
光検出ユニットを含む機器が、前記対象物である被検体に装着された状態において、
前記第１の基板から前記対象物までの距離をｄ１とし、
前記第２の基板から前記対象物までの距離をｄ２とした場合に、ｄ１＞ｄ２となることを特徴とする光検出ユニット。
【請求項１２】
対象物に対して光を射出する発光部と、
前記対象物からの光を受光する受光部と、
前記発光部が設けられる第１の基板と、
前記受光部が設けられる第２の基板と、
を含み、

前記第１の基板の上方に前記第２の基板が配置され、且つ前記第２の基板から前記第１の基板への方向から見た平面視において、前記発光部と前記受光部とは互いに重ならないことを特徴とする光検出ユニット。

【請求項１３】

請求項１乃至１２のいずれかに記載の光検出ユニットを含むことを特徴とする生体情報検出装置。